



春を待つ花壇の花

麻里布小だより 2月

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>

令和5年度

もうすぐ2月！ 待ち遠しい春の訪れ

あと10日ばかりで2月になります。2月3日は、「節分」です。昔の暦では、この頃が一年の始まりとされ、江戸時代頃からは、立春の前の日を「節分」というようになったそうです。

節分には、「鬼は外、福は内」と炒り大豆を撒き、年の数より一つ多い数（もしくは年の数）だけ豆を食べたり、柵の小枝と焼いた鰯の頭を門口に挿したりする風習があります。季節の変わり目は邪気が入りやすいと言われ、それを除くために行うものであり、最近では、幸運を招く方角を向いて黙って太巻きを丸かじりすることも人気となっています。

こうした風習は、地域によって違いがあるようですが、長い冬の後にくる穏やかな季節を迎える喜びは昔から変わらず、その節目となる節分は、春を迎えるための昔からある大切な行事と言えます。まだまだ、寒い日が続きますが、「鬼は外」で悪い鬼を追い払い、子どもたちには元気に毎日を過ごしてほしいと願っています。

ちょっと紹介！



2024年や3学期の目標

新学期を迎え、2024年や3学期の目標を決め、各教室等に掲示しています。

3学期の始業式では、「牛の歩みも千里」ということわざを紹介し、自分の決めた目標達成に向け、努力を続けることの大切さを伝えました。

昔の遊び

最近では、凧揚げやこま回しなど、昔から伝わる遊びをする子どもをあまり見かけなくなりました。

1年生が、2学期に地域の方から教えていただいたこま回しやあやとりを教室で楽しんでいます。

書き初めに決意を込めて

1月15日、6年生が講堂で書き初めを行いました。講堂に新年らしい「春の海」が流れる中、自分の決意を条幅紙に書いていきました。

3か月後には中学生になる今年、どの児童も真剣に思い思いの言葉を書いていた。



縄跳びに挑戦！

多様な動きをつくる運動（遊び）として、縄跳びや長縄跳びに挑戦しています。

本を寄贈していただきました

（株）丸富の村上宗嗣様から、シートン動物記、棕鳩十作の本や図鑑など、多くの本を寄贈していただきました。

新しい本を見て、子どもたちの読書意欲がさらに喚起されることと思います。

寄贈いただき、ありがとうございました。

